

教育長のメッセージ

平成31年4月

平成31年度 新年度の始まりに当たって

船橋市教育委員会 教育長

松本 文化

1 年度始めに当たって

本年度は、5月1日から新元号となる節目の年になります。本市の教育力の向上を図り、より良い生涯学習社会を実現するために、学校や社会教育施設が中心になり、保護者や地域の皆様とともに、本市の教育目標である「地域の教育力の向上を図り生涯学習社会を実現する」「社会の中で協調し自立できる子供を育成する」ことを目指し、市民の皆様や子供たちがこの船橋に住むことに喜びを感じ、誇りに思うことができる教育施策を推進してまいります。

また、来年度から順次行われる新しい学習指導要領への移行が計画的に進められ、各学校の創意工夫により「生きる力」を育む教育が一層充実していくよう、教育委員会としても万全の支援体制をとってまいります。

2 「船橋の教育—教育振興ビジョン及び後期教育振興基本計画—」について

平成27年度に策定された「船橋の教育—教育振興ビジョン及び後期教育振興基本計画—」にのっとり、平成30年度は様々な施策を展開しました。

平成31年度も引き続き、2つの教育目標の実現に向けて、8つの基本方針と25の推進目標に基づき、様々な施策を展開してまいります。

<https://www.city.funabashi.lg.jp/kodomo/keikaku/002/p034997.html>

また、この計画は今年度までになりますので、新たな計画を今年度策定いたします。

3 船橋市教育大綱について

「船橋市総合教育会議」において、市長と教育委員会の協議・調整を経て、平成27年10月に「船橋市教育大綱」が策定されました。

「船橋の教育—教育振興ビジョン及び後期教育振興基本計画—」を確実に推進することを基本とするとともに、特に留意する事項として、次の4つの取り組みに力を入れていきます。

- ①経済的に困難な状況の子供たちへの学習機会の拡充
- ②主権者教育の研究と導入
- ③「ふるさと船橋」への思いの育み
- ④学校教育と社会教育の連携

4 教育予算について

本年度の教育委員会の当初予算は245億4,700万円であり、本年度も市長の公約である「子供たちの未来につながる施策の展開」が、教育予算に反映されています。市長の強い思いに応えるとともに、63万市民の期待に応えるため、教育委員会事務局職員一同、強い責任感をもって、市民のため、子供たちのために充実した事業を推進してまいります。

本年度の主な事業は以下のとおりです。

- （仮称）塚田第二小学校の整備
- 私立幼稚園への助成
- 要保護・準要保護児童生徒に対する助成
- 特別支援学校の校舎増築
- 運動部活動指導員の派遣
- 取掛西貝塚の保存・整備
- 東京2020オリンピックに向けた取組とパラスポーツの振興

5（仮称）塚田第二小学校の整備

大規模開発が進む塚田地域における将来の児童数の増加に対応するため、「（仮称）塚田第二小学校」の整備を進め、平成33年4月開校を目指します。

6 私立幼稚園への助成

保護者から徴収する保育料等を減額又は免除している私立幼稚園の設置者に対し、減免相当額を助成します。また、平成31年10月より開始する幼児教育の無償化に伴い、助成を拡充し、保護者負担の軽減を図ります。

7 要保護・準要保護児童生徒に対する助成

就学援助における準要保護児童生徒の保護者に対する新入学学用品費の補助金額を引き上げるとともに、新たに卒業アルバム代を支給します。また、給食室改

修により給食が停止される学校に通う要保護・準要保護児童の保護者に対し、給食費相当分を支給します。

8 特別支援学校の校舎増築

特別支援学校の生徒数増加に伴う教室不足に対応するため、金堀校舎の増築を進め、平成32年4月の開設を目指します。

9 運動部活動指導員の派遣

生徒への専門的な指導、教職員の働き方改革を行うため、市立中学校の運動部に部活動指導員を派遣します。

10 取掛西貝塚の保存・整備

全国的にも貴重な約1万年前の遺跡である取掛西貝塚について、平成33年度中の国指定史跡を目指し、申請に必要な調査研究報告書の作成に向けて最終の学術調査を行います。

11 東京2020オリンピックに向けた取組とパラスポーツの振興

昨年に引き続き、アメリカ男子体操チーム事前合宿を受け入れ、市民交流イベントとして一般公開や体操体験会を実施します。また、障害者スポーツの普及・啓発を図るため、小学校におけるパラスポーツ体験授業や特別支援学校と特別支援学級の児童・生徒を対象とするサッカー教室を開催するほか、スポーツ推進委員に対し、初級障がい者スポーツ指導員養成講習会の受講料を助成します。